

登録コード	E2030900	開講年度	2026			
授業科目	書写基礎				担当教員	小林 比出代
英文授業名	Basic Calligraphy (Shosha)				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・3時限	対象学生
講義室	教育図書2階講義室		授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	中学校国語科書写の目標及び学習指導の内容及方法について理解を深め、学習指導の観点や教材分析など、その教育実践に必要なとなる基礎的な知識を習得するとともに、演習（実技）を通して書写技能及び指導力の向上を図る。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	教育活動を遂行する上で、書写に関する専門的知識・能力を理論面と実技面の双方から習得し、授業実践に活用できるようにする。
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	中学校国語科書写の学習指導に必要な理論と技能に関する講義と演習を行う。 文字や「書写」に関する基礎知識をふまえながら、今日の書写教育と学習指導の在り方について考える。また、中学校での授業実践も念頭に置きながら、毛筆・硬筆の実技力を高める。					
(5)授業計画	第1回：中学校国語科書写の意義 ―その目標と内容― 第2回：書写に関する基礎的な知識① 書写及びその教育の歴史と役割 第3回：書写に関する基礎的な知識② 文字及び書体の変遷 ―六書と五つの書体― / 姿勢と執筆法 第4回：楷書の学習① 基本的な点画と書き方／字形Ⅰ（要素と全体の整え方） 第5回：楷書の学習② 字形Ⅱ（点画の組み合わせ方） 第6回：楷書の学習③ 字形Ⅲ（部分の組み立て方） 第7回：楷書の学習④ 筆順・許容される書き方〔STEAM教育含む〕・文字の大きさと配列 第8回：行書の学習① 行書の特徴Ⅰ（点画の方向や形の変化） 第9回：行書の学習② 行書の特徴Ⅱ（点画の連続） 第10回：行書の学習③ 行書の特徴Ⅲ（点画の省略と筆順の変化） 第11回：平仮名と片仮名 第12回：漢字（楷書・行書）と仮名の調和 第13回：楷書及び行書の学習指導過程 第14回：書写の指導計画と学習指導案の研究 授業アンケート 定期試験 なし					
(6)成績評価の方法	・「授業の達成目標2」の「書写に関する専門的知識及び技能が習得できているか」を図るためには、提出された全課題の内容を、中学校国語科書写の学習指導に必要な理論及び実技について習熟できているか（50％）によって、「授業の達成目標1」の「基礎力と指導力」を図るためには、授業に取り組む姿勢（50％）によって総合的に測り、双方を併せて評価する。具体的には、中学校書写に関する目的・内容・指導方法等、知識に関する理解度はレポートによって、技術の習得度及び授業に取り組む姿勢は毎回の授業で課す提出物によって判断する。					
(7)成績評価の基準	・提出された全課題において、中学校国語科書写の学習指導に必要な理論及び実技について習熟できた割合が9割以上を「卓越している」、8割以上9割未満を「かなり上にある」、7割以上8割未満を「やや上にある」、6割以上7割未満を「水準にある」とし、併せて出席率及び授業に取り組む姿勢を加味する。 秀：授業内容をきわめて高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題演習・実技課題等に取り組み、高度な活動成果を示している。 優：授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題演習・実技課題等に取り組み、良好な活動成果を示している。 良：授業内容のおおよそを理解し、講義内容を理解するとともに、与えられた課題演習・実技課題等に誠実に取り組み、授業ねらいで求める活動成果の三分の一程度の達成が認められる。 可：授業内容の一部を理解するとともに、与えられた課題演習・実技課題の一部は誠実に取り組み、部分的に努力の認められる活動成果を示している。 不可：授業出席以外は可とすべき内容を満たさない。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(8)事前事後学習の内容	【事前学習】 ・次回授業までに行ってくる課題を出すことがある。当該授業で扱う内容となる。真摯に取り組んでほしい。 【事後学習】 ・各授業時間内では習得しきれなかったと考える学習内容については、次の授業までに各自補習しておく。					
(9)履修上の注意	・毛筆及び硬筆の書写用具（大筆・小筆・墨・半紙・硯・下敷・文鎮・鉛筆）を各自で用意すること。					

(9)履修上の注意	・ 座席は指定する。
(10)質問，相談への対応及び連絡先	原則としては授業時に直接の形が望ましい。個人的な相談や質問等はメール、もしくはオフィスアワーを利用してよい。対応可能な場合はその他の時間でもよい。 メールアドレス：hideyokb@shinshu-u.ac.jp 研究室電話番号：内線4073 研究室：M413
【教科書】	・ 『国語科書写の理論と実践』（全国大学書写書道教育学会編 萱原書房）（1,100円(税抜)） ・ 必要に応じてプリント資料を配付する。
【参考文献】	・ 『漢字指導の手引き』（久米公 教育出版）（1,760円） ・ 『「書くこと」の学びを支える国語科書写の展開』（松本仁志 三省堂）（1,540円） ・ 中学校書写用教科書／小学校書写用教科書 ・ 『中学校学習指導要領解説国語編』（東洋館出版社，2018，317円） ・ 『小学校学習指導要領解説国語編』（東洋館出版社，2018，162円）